

特集

派遣という働き方で

幸せを

感じる

瞬間

1420人の派遣スタッフが
明かした
「こんなとき、私は幸せを感じる」

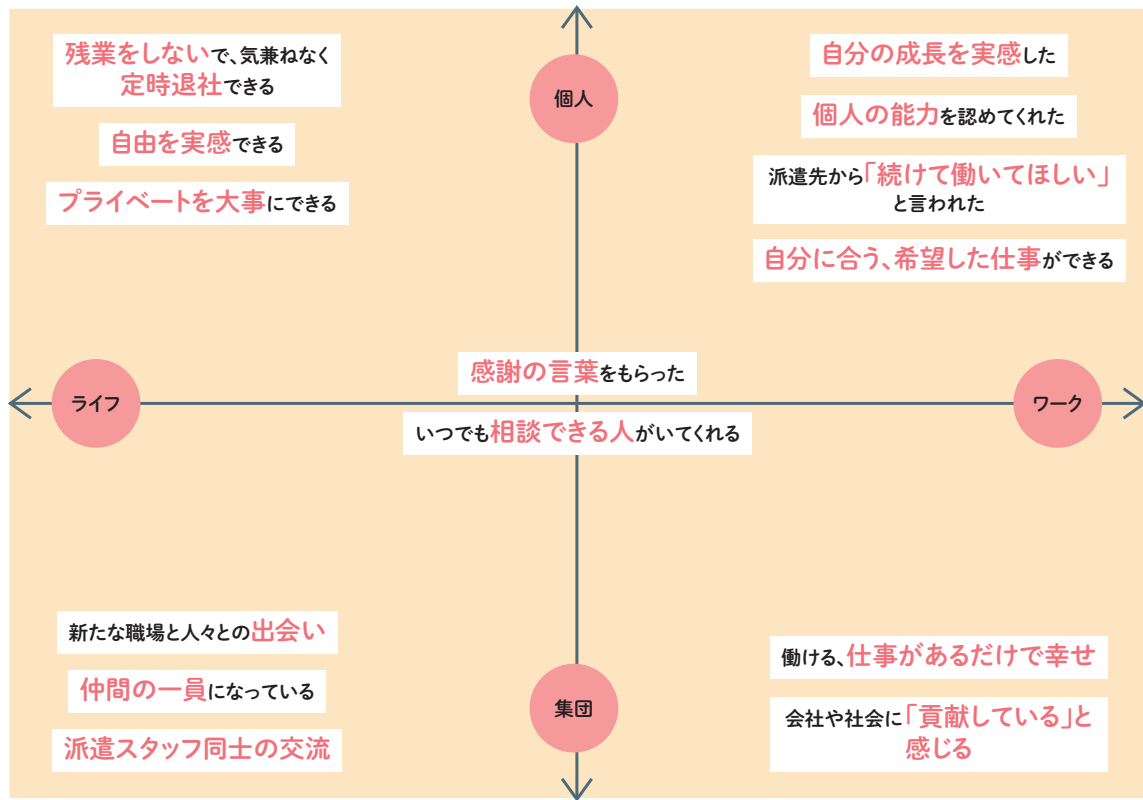
正直、派遣スタッフを対象としたアンケート調査において、この質問は「冒険」でもあった。「派遣という働き方で、あなたは『幸せを感じる瞬間』がありますか?」——。派遣スタッフにとっての「幸せ」には、「派遣」でも「幸せ」の意味もあれば、「派遣」だから「幸せ」という意味もあるだろう。派遣スタッフの満足度向上を考えるのなら、やはり「派遣」だから「幸せ」を追求したい。ならば、とことん聞いてみようじゃないか。「派遣という働き方で、あなたは『幸せを感じる瞬間』がありますか?」——と。

(本誌 伊藤秀範)

■調査概要■

●実施期間・・・2024年3月18日～22日 ●有効回答数・・・4000人 ●男女比・・・男性1567人(39.2%)、女性2433人(60.8%)
●年齢比・・・10代:3人(0.1%)、20代:329人(8.2%)、30代:770人(19.3%)、40代:1207人(30.2%)、50代:1277人(31.9%)、60代:414人(10.4%) ●雇用形態・・・有期雇用:2811人(70.3%)、無期雇用:1189人(29.7%)

※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。



「感謝される」「褒められる」に スタッフの多くが「幸せ」を実感

50代スタッフも感激! 「褒められたら、嬉しい」に年代差はない!

35.5%のスタッフが「ある」と回答

本誌ではこれまで、派遣スタッフを対象とした独自アンケートの中で、主体的かつ積極的に「人材派遣という働き方」を選択している人たちの割合と「その理由」についてのデータ収集とその分析を何度も行っている。

詳しくは過去のバックナンバーの特集記事を参考にさせていただければと思うが、本誌の調査では、概ね3割程度の派遣スタッフが「人材派遣という働き方」に最も魅力を感じ、日々のワークライフの中で、そり人なりの正社員やパート・アルバイトにはない「派遣の良さ」も実感している。

おそらくこの3割の派遣スタッフは、労働組合やユニオンなどの労働相談の窓口にも縁がないと思われ、本誌のような業界専門誌のようなメディアでもなければ、その存在がクローズアップされることはほとんどない人たちである。

今年3月に実施した派遣スタッフを対象としたアンケート調査では、「人材派遣という働き方」に

「幸せを感じる瞬間」が「ある」と回答した所属スタッフの割合 派遣会社ランキング

1位	ヒューマントラスト	46.8%
2位	パーソルエクセルHRパートナーズ	43.3%
3位	ウィルオブワーク	42.9%
	ワールドインテック	42.9%
5位	パソナ	38.5%
6位	アデコ	37.7%
	マンパワーグループ	37.7%

- 感謝の言葉もらった
- いつでも相談できる人がいてくれる
- 自分の成長を実感した
- 個人の能力を認めてくれた
- 派遣先から「続けて働いてほしい」と言われた
- 自分に合う、希望した仕事ができる
- 働ける、仕事があるだけで幸せ
- 会社や社会に「貢献している」と感じる
- 新たな職場と人々との出会い
- 仲間の一員になっている
- 派遣スタッフ同士の交流
- 残業をしないで、気兼ねなく

例えば「自由を実感できる」や「プライベートを大事にできる」などのカテゴリに含まれる人たちは、仕事よりもライフイベントを重視した生き方を志向し、職場の人間関係の濃淡でいえば「淡」を好む傾向が強い。

「仕事か、プライベートか」という「幸せの軸」

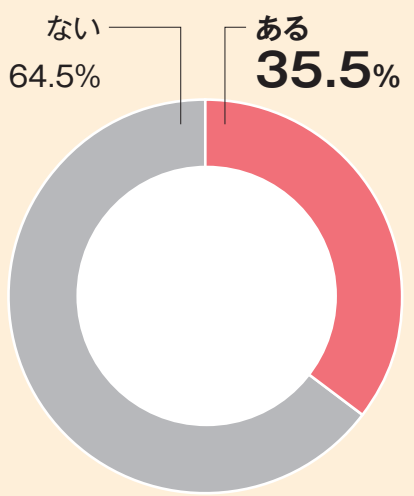
定時退社できる
自由を実感できる
プライベートを大事にできる
これらのキーワードを、かなり大雑把な対抗軸であるが、大きく「個人主義と集団主義」と「ワークとライフ」という2つの軸でさらに分類したものが、11ページ上段のイメージ図である。

最も魅力を感じている派遣スタッフのイメージをより具体的に可視化するため、さらにもう一歩踏み込んだ、次のような質問を加えてみた。

「派遣という働き方で、あなたは『幸せを感じる瞬間』がありますか?」

「魅力」という表現から、さらにワンランクもツーランクも上のポジティブな表現である「幸せ」というキーワードに、どれだけの割合の派遣スタッフが反応してくれるだろうか?—そんな期待半分、不安半分の中でアンケートを実施したところ、図表1の円グラフにあるように、35.5%の人が

図表1 派遣スタッフとして働く中で「幸せを感じる瞬間」はありますか? n=4000



「幸せ」の内容をキーワードで分類

調査対象は4000人であるから、その中の35.5%は1420人である。アンケートではさらに、この1420人すべてに、その「幸せを感じる瞬間」の内容も聞いています。

1420人の「幸せを感じる瞬間」であるから、その内容も数も膨大である。一つひとつのコメントをグループピングすると、39ものキーワード分類ができ上がった。誌

「ある」と回答した。